

# メーカー、卸、業者関係者と 東京民医連で初の懇談会を開催



10月28日（木）東京民医連、病体生理研究所、協立医師協同組合が主催しメーカー、卸などの取引関係者の皆さまに集まっていただき「東京民医連との懇談会」を開催しました。  
急に冷え込み冷たい雨が降るなか、会場の全労連会館ホールはびっしり96社148名の関係者が集まりました。  
協立医師協の小池専務の開会のあいさつ、病体生理研究所の折笠専務による事業紹介に続いて、東京民医



連網領、医療介護再生プランの説明を行いました。  
よせられたアンケートでは「笑って死ぬる病院には感動」「大変わかりやすい説明で医療現場の実態を知ることができました」「民医連の医療、福祉、めざしている医療、福祉、社会保障の方向がよくわかった」「是非、さまざま



連石川徹会長が「現在の民主党政権が押し進める新成長戦略が医療、介護、社会保障を利潤追求の場にする方向で進んでいる。民医連も、医師会も懸念の声をあげている」とあいさつ。  
続いてDVD「笑って死ぬる病院」の上映、東京民医連千坂事務局長より東京民医連の医療、福祉、介護活動、今年の酷暑の高齢者の熱中症予防の活動などホットな話題や新民医

などところで協力してゆきたい」など、新鮮なおどろきと賛同の声をいただきました。  
「同じ医療、介護を支える仕事の仲間として、是非これからも東京民医連と協力協同をねがいたい」と吉田万三副会長が閉会のあいさつ。  
東京民医連としては、初めての試みの懇談会でしたが、「是非、年に数回は開催してほしい」との声が多数寄せられた大好評の懇談会でした。

